

Kita no Kawaraban

北の瓦版

商工会職員募集中

詳しくは7面をご覧下さい

 URL <http://www.do-shokoren.com/>

北海道商工会連合会
〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル

TEL(011)251-0101代／FAX(011)271-4804
編集人：事務局長 石橋 孝／定価：1部50円／奇数月1日発行
会員の年間購読料は会費に含めていただいております。

節電にご協力を
お願いします。

節電をお願いしたい 期間・時間帯

9月30日(火)まで
平日9時～20時



め「美瑛豚」
を食材に
加えるな
どのルー
ル化を進
め、現在
舗で提供
している。

さらに、今年6月には、地元の食材のすばらしさを町内外へ発信しようと町や農協、商工会など、「丘のまちびえいグルメ協議会」を結成して、美瑛豚を使つた「豚テキバーガー」の商品化に取組むなど、まちぐるみでの新商品開発に余念がない。商工会では、「今後ともオール美瑛で地域の活性化に取組み」としている。



地域とコラボする商工会

上川管内 美瑛町
—商工会では自慢できる地域づくりを実践しています—

ご当地グルメで 地域を活性化

美瑛町商工会（西森和弘会長）は、町内の団体と連携しながら地元の食材を使って数々の特産品や料理の開発に取組んでいる。「美瑛カレーうどん」は、美瑛産小麦を普及しようと商工会はもとより、農協、観光協会、金融機関、役場職員がメンバーとなり「美瑛カレーうどん研究会」を発足、商工会が事務局となつて取組んだもの。研究会の会長には西森会長が就任している。当初は「つけ麺」のみだったが、その後「焼き麺」、「かけ麺」とシリーズ化し、町内酪農家、

万食を売上げ、経済波及効果は1億5千万円にのぼる。

また、平成22年には、道内の地元料理を集めた「新・ご当地グルメグランプリ北海道」（食催）で準グランプリを受賞、今年7月には、美瑛町で同グランプリが開催され、約3万人が来場するなど「美瑛カレーうどん」は、今や美瑛町を代表するグルメとして、滞在型観光においてもおおいに貢献している。

地域と「つなげる」商工会
一商工会では自慢できる地域づくりを実践しています

十勝管内 池田町

団体。
支援金は、少年団活動の備品
購入に活用されるなど地域のた
めにおおいに役立つてゐる。



している団体の中から希望の団体を選んで渡すもの。

満点になつたポイントカードで500円の買い物ができ、お客様は、購入店でポイントカードに付いている地域応援券を受けて取る。この地域応援券を登録

本事業は、平成22年度から始めたもので、スタンプ会加盟店での買い物108円につき1ポイントが付与され、400ポイントで満点になる。

かとい貢獻する団体を歓迎し
町の活性化に寄与している。

また、商工会では、移住の取り組みを積極的に行っており、工業部会が中心となって、『「ワインのまち」也田町多生足進協



道商工連は7月4日、商工会事業の円滑な推進と地域振興の発展を目的として、札幌市内のホテルで「全道商工会リーダー等研修会」を開催した。



冒頭、荒尾会長挨拶のあと演壇に立った竹中町長は「ふるさと納税がヒットするまで」と題して、平成25年度に1万3千件・2億4千万円と全道一となつた「ふるさと納税」の取組みについて、「都市と農村の交流」、「農商工連携・特産品開発」、「ICT（情報通信技術）の活用」の3つのキーワードをあげて紹介した。

また、先日日本創成会議が2040年に全国896自治体で消滅の可能性があるとした報道

など人口減少問題にも触れ、町の人口が減れば経済行為が低下し、活力もなくなる。これにどう立ち向かっていくかは、商工会のリーダーや行政の役割である。そのような中、移住定住の取り組みを進めており、現在まで46組84人が町に移住していると話した。

研修会は、上士幌町長・竹中貢氏を招いて開催され、全道の商工会から役員など80名が出席した。

冒頭、荒尾会長挨拶のあと演壇に立った竹中町長は「ふるさと納税がヒットするまで」と題して、平成25年度に1万3千件・2億4千万円と全道一となつた「ふるさと納税」の取組みについて、「都市と農村の交流」、「農商工連携・特産品開発」、「ICT（情報通信技術）の活用」の3つのキーワードをあげて紹介した。

竹中貢氏を招いて開催され、全道の商工会から役員など80名が出席した。

ふるさと納税では、テレビや月刊誌で紹介されてから寄付が大幅に伸びており、効果が大きく、リピーターも増えている。

寄付のうち、およそ半分が特産品代となり、町の経済が動いていることから、事業者にとっても大きな意味を持つ。行政と連携して自分の町にどんな資源があるのか見直してみると必要。

今後の使い道としては、基金を創設して子育てや教育の支援をしていきたいとした。

「町の中に何もないという思想で止まってはいけない。長い歴史の中で独自のモノが必要あるはず。これからも北海道が元気になるためにお互い協力しながら頑張っていきましょう」と締めくくった。

全道商工会リーダー等研修会を開催

道商工連は8月に研修室において、10月に開催予定の「北海道味覚マルシェ in 札幌」の出展者説明会及びセミナーを開催した。

本事業は、展示販売会であり、今年度は札幌三越デパート催事場での開催を企画し、道内の中小・小規模企業の販路拡大を支援するため、当会が全国連へ申請し、採択された事業。

会場には、北海道内の出展申込予定の62企業の内、42企業46人が出席した。

説明会では、出展者マニュアルにもとづいて、商品搬入から身だしなみまで、詳細な説明がされ、また出展者向けセミナーでは、(株)札幌丸井三越のバイヤーが「物産展での効果的な商品PR・販売方法」と題して講演した。

商工貯蓄共済融資制度改正のご案内

観光・ビジネス・ご婚礼・ご会合に心をこめたおもてなし。

【ご宿泊】
【ご婚礼】
【ご宴会】
【ご会合】

レストランスジカ
中国料理四川飯店
料亭
居酒屋
焼鳥専門店
天庵 ゆきに

CP ホテル札幌カーテンパレス

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL/011-261-5311
URL <http://www.hotelgp-sapporo.com/>

既に融資をご利用の方につきましては完済まで返済条件等に変更はございません。

また、融資斡旋限度額、返済期間、連帯保証人等の詳しい内容については商工会にお問い合わせ下さい。

道商工連は8月に研修室において、10月に開催予定の「北海道味覚マルシェ in 札幌」の出展者説明会及びセミナーを開催した。

商工貯蓄共済融資制度は金融環境の変化に対応するため平成26年10月から融資斡旋先が北海銀行から北海道商工業支援協同組合に変わります。

火災、落雷、破裂・爆発、風災・雪災

物体の落下・飛来・衝突 水ぬれ、騒じょう、盗難、水災

火災共済に加入して安心ある日々を!!

お問い合わせは取扱い商工会又は下記まで

北海道灾害共済協同組合



札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 TEL(011) 231-1322

地域課題など要望

京で国交省、資源エネルギー庁などに同様の要望を行つた。

宗谷・十勝の2商工連が関係
行政機関等へ要望

十勝商工連（竹田悦郎会長）
は、帯広商工会議所（高橋勝坦

宗谷商工連（中村忠勝会長）は、稚内商工会議所（中田伸也会頭）と共に7月7日、札幌市

議された「国土強靭化の着実な推進」や「JR宗谷本線の高速化事業の早期実現」など社会資本整備のほか「風力発電の導入拡大に向けた送電網整備の早期着手工」、「離島航路の物流コストの軽減対策」など43項目について道開発局、道経産局、道などに要望した。また、翌日には東

内で7月にとかち商工業振興会議で決議された「十勝の食と観光振興に対する支援の強化」、「地域の交通政策に対する取り組みの促進」、「国際貿易交渉への適切な対応」、「景気対策の強化」の重点項目を含め14の要望項目について、道開発局、道経産局、道議会、道などに要望した。また、翌日には東京で国交省、経産省などに同様の要望を行った。

（ひさじま・まさゆき）久島工業株代表取締役。
平成11—12年青

年部長。平成18—21年理事。平成21—26年副会長。町産業観光振興協議会副会長。53歳。

農商工連携 ファンド事業の 募集について

**小規模企業共済
加入促進で表彰**

この事業は、中小企業者と農林漁業者が連携して新商品の開発から販路開拓までの取組みに助成を行うもの。

資金循環事業に
道内9商工会等の
採択決定

発から販路開拓までの取組みに助成を行うもの。

助成内容についての詳細は最寄の商工会又は道商工連へお問合せ下さい。

〈関連URL〉

<http://www.do-shokoren.com/>

国の新規補助事業「地域内資金循環等新事業開発検討事業」に次の9商工会等の事業が採択になった。

初山別村、枝幸町、斜里町、
壮瞥町、白老町、音更町、広
町、陸別町、道商工連。

小規模事業者等が委員となり、地域経済の活性化に向けた研修会等を実施する。

『新商工會長誕生』

表彰されたのは、あさひかわ、
江部乙、幌加内町、泊村、函館

小規模事業者持続化補助金 第2次受付分の採択事業者がこのほど決定した。

全国の商工会から1万7千件の応募があり、そのうち北海道内の商工会からは134件が候補に挙げられた。

通 信

多くの商工会で特産品開発事業に取り組んでいるなか、当町の名産である「でんすけすいか」を使ったようかんが人気を集めている。

「でんすけすいかようかん」は球形のようかんで、でんすけすいかの果汁が入っている。昨年より販売開始し、2千5百箱を用意したが、わずか一箇月で完売した。そのため、今年度は1万箱を製造し、町内や道の駅とうまで販売をしている。

最初は、でんすけすいかを使つたジエラートの開発を試みたが、冷凍商品は販路が限られてしまふことから、露店でも販売できるような商品開発を目指し見直しをした。

商品開発にあたった特産品開発特別委員会の長谷川浩保委員長は、「でんすけすいかようかん」の誕生まで試行錯誤の繰り返しだったと話す。

一万個販売へ！



**でんすけすいかようかん
一万個販売へ！**

ガチャガチャの球の中に入れたら面白いのではないか」という遊び心から、球状のようかんが生まれた。

パッケージも実際の「でんすけすいか」と同じ赤色と黒色の箱を使用するなど、趣向をこらし人気拡大につながった。

特産品開発特別委員会では町の特産品として「でんすけさん

ちのすいかサイダー」も開発、販売を開始しており、「でんすけすいかようかん」とあわせて多くの人が当麻町に買い求めに訪れるよう期待している。

問い合わせは当麻町商工会まで
(TEL 0166-84-2325)



オホーツク管内
◆
商店街活性化事業と地場産業の育成と新たな創出

幾度となく会議を重ね、自由な雰囲気で意見を出し合うなかで「ようかんを開発特別委員会の長谷川浩保委員長は、「でんすけすいかようかん」の誕生まで試行錯誤の繰り返しだったと話す。

商品開発にあたった特産品開発特別委員会の長谷川浩保委員長は、「でんすけすいかようかん」の誕生まで試行錯誤の繰り返しだったと話す。



「商店街マップ・パンフレット、のぼり等」に活用し情報発信を図る。

また、にぎわいを創出する新事業として「訓子府町商店街ス

トリートフェスタ」(10月19日開催)のイベントを企画。

地域住民などの多様な層の関心を引き、商店街を回遊するきっかけとすることで町内消費の需要拡大を図ると共に、商店街の

長)では、商店主の高齢化、郊外大型店への消費流出など、社会状況の変化による商業機能の空洞化を危惧し、商店街再生へ向け様々な取組みを進めている。

商工会では、情報発信による集客力の向上を図るため、長年にわたり町民に親しまれている、ご当地グルメ「訓子府たれかつ丼」に着目。

現在、町内で7店舗が提供しており、この味を求めて遠くから訪れる客も増え、今年1月にはキヨスクオリジナル弁当「北海道ご当地グルメの旅シリーズ第7弾」として道内各地の主要なJ R 駅で販売され、人気を集めめた。

更にニーズが高まり、ご当地グルメとして定着してきた訓子府たれかつ丼のイメージキャラクターを、町在住のイラストレーターがデザイン。

「商店街マップ・パンフレット、のぼり等」に活用し情報発信を図る。

また、にぎわいを創出する新事業として「訓子府町商店街ストリートフェスタ」(10月19日開催)のイベントを企画。

地域住民などの多様な層の関心を引き、商店街を回遊するきっかけとすることで町内消費の需

要拡大を図ると共に、商店街の存在意義を再認識していただき、の立替え時期を迎えているが、賑わいをまち全体へ効果的に波及させていく。

今後、地域住民・関係機関等の協力を得ながら、内発力により、導型振興策の一として、域内商業と観光の一体化、地域主導による活性化を継続的に展開し、更なる「にぎわい」創出が期待される。

商工会は、一括借上げによる入居者の安定的確保で一定の収益が見込め財政強化を図ることができ、また地域経済の活性化の促進につながると判断し受入れた。

会員企業4社で共同企業体をつくり、木造2階建て3LDK4棟8戸、同2LDK3棟12戸を建設することになった。

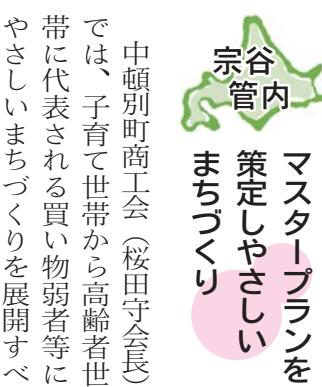
民間建設であることから、公営住宅整備基準に縛られるところなく、3LDK4棟はメゾネット対応の住宅とした。

基盤整備を含め総事業費は2億円弱で、全額を金融機関からの融資で賄い、町は町有地を建設用地として無償貸与するほか、宅地造成や上下水道、道路、駐車場の整備などのバックアップをする。

完成後は商工会が建物の所有者となり維持管理を行い、町が入

◆
胆振管内
壮瞥町と商工会が連携する賃貸住宅整備事業

壮瞥町商工会(堀口一夫会長)では、町所有の町職員・教職員用住宅に替わる借上げ住宅を建設する賃貸住宅整備事業に取組んでいる。



K1棟の新築工事に着手しており、9月下旬に完成予定。10月に入居開始を目指している。

現在、3LDK1棟、2LD

なっている。
20年で、期間終了後は町に無償譲渡することと

管内

居者の選定、家賃の收受を行う。

借上げ期間は

く本年4月にマスター・プランを策定した。

商工会では、事業基盤やまちづくりに関する課題を明確にし解決していくため、平成25年度に企画広報委員会にて6回にわたり検討が行われプラン策定までに至った。

本プランは、「住んで良かつた、いつまでも住み続けることができる」まちづくりを開拓する町と一緒に、商業の衰退や買い物弱者の増加に歯止めをかけ、雇用の確保や後継者育成を推進することを基本としている。

最後に、若者に配慮し定住ができる対策や防犯面・交通面において安全性に欠ける改善要望などによる人に優しい安心定住のまちづくりを目指す。

本プランの事業期間の目標として5年を設定しており、今後は事業内容等の詳細を協議していくこととし、会員企業や地域住民からも同商工会に対して大いに期待されている。

ふれる環境共生のまちづくり。

応じた住宅のバリアフリー化やリフォームを町と連携して促進を図り、住宅環境改善へ向けた制度の導入などによるゆとりあ

りのまちづくりを高めるまちづくり。

三つ目として、高齢社会に対

する課題を明確にし

解決していくため、平成25年度に企画広報委員会にて6回にわ

たり検討が行われプラン策定ま

でに至った。

本プランは、「住んで良かつた、いつまでも住み続けることができる」まちづくりを開拓する町と一緒に、商業の衰退

や買い物弱者の増加に歯止めをかけ、雇用の確保や後継者育成を推進することを基本としている。

最後に、若者に配慮し定住が

できる対策や防犯面・交通面に

おいて安全性に欠ける改善要望

などによる人に優しい安心定住

のまちづくりを目指す。

本プランの事業期間の目標と

して5年を設定しており、今後

は事業内容等の詳細を協議して

いくこととし、会員企業や地域

住民からも同商工会に対して大

いに期待されている。

ふれる環境共生のまちづくり。

応じた住宅のバリアフリー化や

リフォームを町と連携して促進

を図り、住宅環境改善へ向けた

制度の導入などによるゆとりあ

りのまちづくりを高めるまちづくり。

三つ目として、高齢社会に対

する課題を明確にし

解決していくため、平成25年度に企画広報委員会にて6回にわ

たり検討が行われプラン策定ま

でに至った。

本プランは、「住んで良かつた、いつまでも住み続けることができる」まちづくりを開拓する町と一緒に、商業の衰退

や買い物弱者の増加に歯止めをかけ、雇用の確保や後継者育成を推進することを基本としている。

最後に、若者に配慮し定住が

できる対策や防犯面・交通面に

おいて安全性に欠ける改善要望

などによる人に優しい安心定住

のまちづくりを目指す。

本プランの事業期間の目標と

して5年を設定しており、今後

は事業内容等の詳細を協議して

いくこととし、会員企業や地域

住民からも同商工会に対して大

いに期待されている。

ふれる環境共生のまちづくり。

応じた住宅のバリアフリー化や

リフォームを町と連携して促進

を図り、住宅環境改善へ向けた

制度の導入などによるゆとりあ

りのまちづくりを高めるまちづくり。

三つ目として、高齢社会に対

する課題を明確にし

解決していくため、平成25年度に企画広報委員会にて6回にわ

たり検討が行われプラン策定ま

でに至った。

本プランは、「住んで良かつた、いつまでも住み続けることができる」まちづくりを開拓する町と一緒に、商業の衰退

や買い物弱者の増加に歯止めをかけ、雇用の確保や後継者育成を推進することを基本としている。

最後に、若者に配慮し定住が

できる対策や防犯面・交通面に

おいて安全性に欠ける改善要望

などによる人に優しい安心定住

のまちづくりを目指す。

本プランの事業期間の目標と

して5年を設定しており、今後

は事業内容等の詳細を協議して

いくこととし、会員企業や地域

住民からも同商工会に対して大

いに期待されている。

ふれる環境共生のまちづくり。

応じた住宅のバリアフリー化や

リフォームを町と連携して促進

を図り、住宅環境改善へ向けた

制度の導入などによるゆとりあ

りのまちづくりを高めるまちづくり。

三つ目として、高齢社会に対

する課題を明確にし

解決していくため、平成25年度に企画広報委員会にて6回にわ

たり検討が行われプラン策定ま

でに至った。

本プランは、「住んで良かつた、いつまでも住み続けることができる」まちづくりを開拓する町と一緒に、商業の衰退

や買い物弱者の増加に歯止めをかけ、雇用の確保や後継者育成を推進することを基本としている。

最後に、若者に配慮し定住が

できる対策や防犯面・交通面に

おいて安全性に欠ける改善要望

などによる人に優しい安心定住

のまちづくりを目指す。

本プランの事業期間の目標と

して5年を設定しており、今後

は事業内容等の詳細を協議して

いくこととし、会員企業や地域

住民からも同商工会に対して大

いに期待されている。

ふれる環境共生のまちづくり。

応じた住宅のバリアフリー化や

リフォームを町と連携して促進

を図り、住宅環境改善へ向けた

制度の導入などによるゆとりあ

りのまちづくりを高めるまちづくり。

事業の承継・事業譲渡など経営のバトンタッチのことなら 北海道事業引継ぎ支援センター

にご相談を！！ 相談無料・秘密厳守！

M&Aによる売却を検討しているが、どこに相談したらよいか？



うちの経営資源を引き継いでくれる会社はないだろうか？



事業を後継者に継がせることになった。どのように進めればよいか？



後継者がいない。今後、会社を続けていけるだろうか？



他の企業を買収したいが、どのように進めていけばよいか？



北海道経済産業局委託事業
北海道事業引継ぎ支援センター
札幌商工会議所

ご相談・お問い合わせは下記まで
札幌市中央区北1条西2丁目

北海道経済センター7階
TEL.011-222-3111 FAX.011-222-3811

ピューマンプラザ

標茶町商工会長
田中 進さん

なお、商工会が観光協会の事務局を担っている。

原を眺望できる。

また、湿原最大の湖である塘路湖は、冬には御神渡りが見られ、氷上でワカサギ釣りが人気、夏はカヌーツーリングで多くの人が賑わっている。

者で満室状態になる。

田中会長は、「町の商工業の維持に向け努力し、街中のにぎわい再生を商工会が主体となり取組んでいきたい」と抱負を語った。

企業紹介

(有)北海林産は昭和25年創業で、平成8年に田中会長が代表取締役に就任。

ミズナラ、イタヤなど道産材を使い、北海道だからできる良質な木炭を製造している。窯の管理は経験が必要で会長自ら作業を行うなど「ユーザーに安心・安全な木炭を提供するよう常に心がけている」と田中会長は話された。

資本金300万円、従業員11名。



経営者の退職金制度を知っていますか?



「小規模企業共済」ってのは
経営者が事業をやめたり、
役員を退いたときなどに備える
退職金制度
なんだって!



掛金は
節税
にもなるのよ!

将来もらえる共済金は
一括で受け取ると
退職所得扱い
になって税制上の
Wメリット!



●本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

お近くの商工会又は 北海道商工会連合会へ

【制度内容は次のホームページをご覧下さい。 <<http://www.smrj.go.jp/>>】

..... 本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。

田中会長は、現在66歳。平成18年11月に標茶町商工会長に就任した後、平成24年5月には釧路管内商工連会長、道商工連理事に就任。

平成24年には、産業振興への貢献が認められ北海道産業貢献賞を受賞した。

標茶町は釧路管内の東寄りに位置し、丘陵地帯と平野部に大別される。主産業は酪農業で、300戸の農家が乳用牛を約4万頭飼育している。肉用牛も約1万頭飼育され、町の特産牛肉「星空の黒牛」は、町内はもとより、釧路や東京の飲食店でも取り扱われ、人気がある。

観光は、釧路湿原国立公園の約43%の土地が標茶町内にあり、2箇所ある展望台から広大な湿原を眺望できる。



挑戦する企業 (有)白楊舎(遠軽町白滻)

遠軽町白滻にある(有)白楊舎(的場秀太代表取締役)は、

3年という長さが強みである。また、味のベースを長年変えことなく引継いでおり、自信を持ってお客様に提供している。

道産野菜や肉を使つた缶詰製品などを開発製造し、業績を伸ばしており、社長は商工会青年部の副部長として地域で活躍している。

◇新商品開発に取組んだ理由は?

当社は、先々代の父親が創業し、平成20年に現社長が33歳の時に経営を引き継いだ。売上げが伸び悩む中、新商品開発に取組んでいたが、当時の青年部の先輩から、道商工青連究会への参加を勧められ、自分が主催する「商品力強化支援研究会」への参加を勧められた。社製品を持って参加し、以後1年だけ休んだが、毎年参加して商品開発、改良に取組んでいる。

◇商品の特徴は?

現在、主力商品として、「手抜きのできるご飯シリーズ」を5種類(竹の子・舞茸・帆立・鶏ごぼう・豆五目)販売しているが、下処理が不要で、ご飯を炊く時か、炊き上がった時に1缶混ぜるだけで簡単に食べることなく、今までのご飯を炊く時間がかかるのが、手抜きのできるご飯シリーズである。

「プレミアムご飯の素」をエンブ北海道とのコラボレーションで3種類製造し、札幌のどさんこプラザと北キッチンで販売しており、売れ行きも好調。さらに、パッケージについても、一昨年社長自らデザインを考案し、商品力強化支援研究会で専門家の助言を受け一新したところ、親しみがあると好評を得ている。

◇今後の事業展開は?

今年に入り、新千歳空港での出展を開始しており、バイヤーからの新商品の開発を求められている。そのような中、缶詰の「かぼちゃせんざい」を製造したところ、珍しいこともあり評判が良く、今後もせんざいシリーズとして新商品を計画している。

多年に亘り、道商工青連の事業に参加したことが、企業経営に役立っている。今後も地元北大雪の自然の恵みを活かした商品を作り、売上げ1億円を目指して頑張りたいと語ってくれた。

企業概要
創業昭和26年10月
資本金3百万円
従業員10名
年商7千3百万円



人材育成は中小企業大学校旭川校にお任せください！中小企業の「ひとづくり」に貢献します。

北海道の中小企業及び地域の課題・ニーズに合わせた「自社課題解決型」講座が目白押し！
2014年度おすすめ講座のご案内 9月～10月



■No.15 品質管理と現場改善の推進

期間 2014年9月24日(水)～9月26日(金) 受講料 31,000円(税込)

対象者 管理者・新任管理者
リーダー・その候補者等

■No.16 経営者・幹部のための経営戦略実践講座(2日×2回のインバーバル研修)

期間 2014年10月2日(火)～11月7日(金) 受講料 38,000円(税込)

対象者 経営者・経営幹部
管理者等

■No.18 経営トップセミナーII 自社の強みを活かした新たな事業展開

期間 2014年10月17日(金) 受講料 16,000円(税込)

対象者 経営者・経営幹部
管理者等

講座の詳細は 小中 旭川 で検索！お申込みもwebから！

お気軽にお問い合わせください

電話 0166-65-1200

旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校旭川校

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

9月1日は防災の日である。関東大震災が発生した日であり、台風シーズンを迎える時期でもあることから、災害に対する心構えを育成するために創設された。たどり、地域住民により消防団が組織され、各地区には地域住民の安全を守る重要な役割があることから、災害に対する心構えを育成するためには、地域住民の組織化され、多くの商工会員が活動に参加している。日頃から、地域住民による活動に参加して感謝したい。